

Capa 5

折しも 際のおかげで

* 折しも ^G 際のおかげで ^F 飛んでいる空から^G 急に落ちてゆく ^F ぶつかる前で ^G 目覚めた ^{Em} **^{Em} ^{Am} ^C ^D ^{Em} ^{Am} ^C ^D ^G^{Em} 高いところから ^C 両手を広げて ^{Am} ^C^{Am} 朝いをつけて ^C 前を向いた ^{Am} ^D ながら^{Em} 向かい風に ^{Em} 乗り ^C 知らない ^{Am} ^C 間に^{Am} 空を飛んでいる ^C 際を ^D よく見る ^G^{Em} 晴れていた空が ^C ^{Am} 白くなって ^D きて^{Em} 冷たい空が ^C ^{Am} 顔にあたって ^G くる

* 鳥たちが 飛ぶのを見ていただけで

こぼれおの 辛さが ぬからなかった **

山の斜面から 両手を広げて

太陽背にして 影を追うように

瞳を上げる風を 味方にしながら

ゆっくり飛びたつ 夢をまく見る

暖かい風が 少しずつ冷めて

最後には 寒くて 耐えられなくなる

(* ~ **)

(* ~ **)

Capo.3 1-マシ
Capo.1 オープンGm (Ch.)

きっとアテはある

F G An F G An

★ 気分がすくれない、巢ごもりたけは
 ああそうか 何にも持たないで トボトボ歩いてみよるか
 カート1枚だけで 地図もモバイルもなく
 電車に乗り 歩くだけで

徘徊たなして いわねてる人達も
 おそらく こんな 気持ちだしだろう

きっとアテはある なくしたはずのもの
 信じられることできなくて
 ゆっくりと歩いて 自分のこの目で
 探して確かめることできるまでには

DADGA#D オープンGm

ずいぶん前はよかった けれど思いが重なり
 ああそうか 今ある現実とのギャップが耐えられなくて
 明日を豫見することも 希望を持つことさえも
 全て奪われたようだ

徘徊たなして いわねてる人達も
 おそらく 向かを探してるんだろう

きっとアテはある すびたなくなったと
 信じられることできなくて
 ゆっくりと歩いて しっかりと踏み出して
 探して確かめることできるまでには

(★ ~ ★★)

Capo. 0

逃げてゆくのが

^{Dm} C ^{Bb} C ^{Dm}
^{Dm} ^{Bb} C F A
 ここには私のいるべき場所はない
^{Dm} ^{Bb} C F A
 今さら頑張り続けたところで

^{Gm} ^F
 少し良くなるかい 居づらさあるだけで
^C ^{Dm}
 関わる人ともうまくいかない

^{Dm} ^{Bb} C F A
 抱えきれぬ悩みから解放されたくて
^{Dm} ^{Bb} C F A
 この先のことが見えなくなったとき

^{Gm} ^F
 休みたい気持ち強くなった頃から
^C ^{Dm}
 最後の手段のひとつとして

★ ^{Dm} ^{Bb}
 逃げてゆくのが 悪いことではない
^{Gm} ^F ^A
 「ここしかいらねえ…」 思い込んでいるだけで
^{Dm} ^{Bb}
 自分で縛った責任感だけで
^{Gm} ^F ^A ^{Dm}
 周りはそれほど 思っていないにちがいない
 ★★

ホープ Dm

今あるイザコザ 解決するよりは
 全てを投げ出して任せるだけ……

いなくなった後の 気まぐさなんて
 想像する意味あるのか

「消えてしまいたい」 思ったときは
 口にもできない 気が滅入るだけで
 そのうち疲れて 動けなくなるまで
 逃げたその先を 考えるほうがいいのかも

(★～★★)

Capo. 5

ろうそくのおかり

C Am C Am C Am C Am

C Am C Am
姿を見ていると 昔を思...出す

C Am C Am
ほんのり 暖か... 穏やかなあかりで

Gm F Gm Cm F Bb D
それまで 暗かった 部屋の中だけでなく

Gm F Gm Cm F Bb
沈んだ 気持ちも 小っと 和らげる

Cm Bb Eb Bb
心が 癒れて すさして しまってる

Cm Bb Eb Gm
どうにか 明日を 迎えらる ように

ホタルの光

C# A#m C# A#m C# A#m C# A#m

C# A#m C# A#m
やり場の なかた 見つめる ところまで

C# A#m C# A#m
燃える その中に 視点 与えてくれる

G#m F# G#m Cm F# B D#
ギクシャクしている 二人の 会話ですら

G#m F# G#m Cm F# B
目を 合わさないうで 話し やすくする

C#m B E B
ろうそくのおかり 照らすものすへてか

C#m B E G#m
自分の 顔でさえ 優しく 見えている

影の うっろい お互い 眺めては

存在感 いる ゆらぎの中に

Capo. 3 1-7, L

Capo. 1 オ-7° = Gm (Cm)

まごかの旅立ちで

★ 素直に言えないまま 二度と会えな(なる)

感謝の言葉さえも まごかの旅立ちで... **

いつも気にかけてくれたのに

ただの干渉と捉えていた

今こうして振り返れば

最後に一言か言えなかった

自分があなたの立場になつて

やっとわかることなるなんて

あなたが今まで考えてたことが

いつかだった時に... とわかるなんて

D G D G A# D オ-7° = Gm

* なせにも気付くことが 今までできなかった

ありがとうの一言を伝えるだけなのに **

いつも囁いてくれたのに

大して気にもしてなかった

今こうして思...返せば

自分のことしか考えなかった

思えばいつも 言い合ひばかりで

意地を張っていたおけのことだった

あなたが今にも いつもいた日々か

かけがえのないことだったとわかるなんて

*~**

*~**

Capa. 5

(C)

つらさの向こうに

G An D G D G An D G

朝が来る前の薄暗さは

やがてなくなる

ガマンして待てば 眩しいほどの

オレンジの光がさしてくる

抱えきれないほどのことはかりで

何も見えない

やりたくななくても 辛さの向こうに

行くことだけを信じて

だから今はただ 時がたつのを

待ってようか

流れるものは流して

すべて枯れてゆくまで

1-MAIL

辛さのりこえた向こうには

幸せがある

「辛い」という字が帽子をかぶれば

「幸せ」という字になる

確かなものもないけれど

信じているよ

複雑なことはいつか

ほじけてゆくことを

幸せの前の辛いことは

やがてなくなる

ガマンして待てば 澄み渡るほどの

喜びが 込み上げてくる